

事業 番号	事業名	内 容	対象外 項目番号
	清掃総務運営事務事業		
1	虫窪スポーツ広場・西久保ゲートボール場管理事業	両施設の維持管理	-
2	清掃総務運営事務事業	美化センター運営事務	②
3	美化センター維持管理事業	管理棟及び付属施設の維持管理	-
4	一般廃棄物処理手数料賦課徴収事業	し尿処理手数料、ごみ処理手数料等の賦課徴収事務	-
5	ごみ収集運搬事業	可燃ごみ、資源ごみ等収集事業	-
	ごみ処理事業		
6	リサイクルセンター運営事務事業	リサイクルセンター運営管理事務	-
7	し尿収集運搬事業	汲み取りトイレ及び仮設トイレ等のし尿の収集運搬業務	-
8	し尿処理事業	し尿処理施設の維持管理	-
9	し尿処理施設維持整備事業	し尿処理施設の機能維持のための機器の補修整備及び定期点検	-
10	し尿処理施設更新事業	第二期ごみ処理広域化実施計画に基づく尿処理施設の更新の実施	⑤

令和5年度事務事業一覧表

事業 番号	事業名	持続可能な開発目標 (SDGs)																
		G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	G10	G11	G12	G13	G14	G15	G16	G17
	清掃総務運営事務事業																	
1	虫窪スポーツ広場・西久保ゲートボール場管理事業												○			○		
2	清掃総務運営事務事業												○			○		
3	美化センター維持管理事業												○			○		
4	一般廃棄物処理手数料賦課徴収事業												○			○		
5	ごみ収集運搬事業												○			○		
	ごみ処理事業																	
6	リサイクルセンター運営事務事業												○			○		
7	し尿収集運搬事業												○			○		
8	し尿処理事業												○			○		
9	し尿処理施設維持整備事業												○			○		
10	し尿処理施設更新事業						○	○					○	○	○	○		

予算事業名	清掃総務運営事務事業								事業番号	05 - 15 - 01		
細分事業名	虫窪スポーツ広場・西久保ゲートボール場管理事業								シート作成日	令和5年8月17日		
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	01	事業	02	事業開始年度	—
											事業終了予定年度	—
部 等 名					課 等 名					係 名		
産業環境部					美化センター					施設係		

計画（Plan）

事業の概要	総合計画	P	柱	—			
			部 門	—			
			大施策	—			
			中施策	—			
			施策目標	—			
	根拠法令・条例等			—			
	個別計画等			—			
	行政経営プラン 実施計画事業			実施番号	—	実施項目名	—
	目 的 （何のために）			虫窪スポーツ広場及び西久保ゲートボール場の適正な維持管理を行う。			
	対 象 （誰を・何を）			虫窪地区住民・西久保地区住民・町民スポーツ団体			
	内 容			ごみ焼却処理施設の建設、し尿旧投棄場跡地の地元還元施設として整備した両施設の管理運営を行う。			

実施
(Do)

執行体制			一部委託あり				
事業費			単位	R02年度（決算）	R03年度（決算）	R04年度（決算見込）	R05年度（予算）
	直接事業費（a）		千円	1,472	1,473	1,510	1,564
	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金					
		起債					
		その他					
		一般財源		1,472	1,473	1,510	1,564
	職員人数（概算職員数）		人	0.11	0.09	0.10	0.12
	人件費計（b）		千円	486	466	559	678
	総事業費（a）＋（b）		千円	1,958	1,939	2,069	2,242
事業費内訳（千円） R 05 年度		虫窪スポーツ広場・西久保ゲートボール場水道料21千円 虫窪スポーツ広場・西久保ゲートボール場草刈委託料866千円、用地借上料677千円					

指標値	本事業が属する総合計画 の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			—				—	
	指 標 名		単位	項 目	R03年度 （決算）	R04年度 （決算見込）	R05年度 （予算）	R07年度 （目標）
	対象指標 （対象者数等）	利用団体数（虫窪及び西久保）	団体	—	11	11	11	11
	活動指標 （活動量）	利用日数（虫窪及び西久保）	日	計画値	100	100	100	100
				実績値	210	183	—	—
	成果指標 （達成度等）	利用率（利用日数/365）	%	目標値	27	27	27	27
				実績値	57	50	—	—
				達成率	211.1%	185.2%	—	—
	定性的成果		—					

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	② 廃止・休止による影響は小さいがある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	④ 成果を計ることはなじまない		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである	
	過去の外部評価等における指摘事項	—			
	主な改善経過 (過去4年間)	R02: 虫窪スポーツ広場仮設トイレの更新を行った。 R04: 虫窪スポーツ広場駐車場フェンスの修繕を行った。			
課題	スポーツ広場、公園等との一元管理することにより効率的な利用を図ることを検討する必要がある。				

今後の方向性の判断	区分	維持	R04年度	拡充	R03年度	維持	R02年度	維持
	理由	引き続き、事業の継続が必要であり、地元還元施設として維持管理していくべきである。						
課題解決に向けて着手する取組事項	R05年度	地元への要望確認、関係課との調整を行う。						
	R06年度	地元への要望確認、関係課との調整を行う。						
R05年度改善事項		人件費増により必要経費の増額が生じたため、虫窪スポーツ広場及び西久保ゲートボールの草刈委託料を増額した。						
記入日								
令和6年3月21日								

予算事業名	美化センター維持管理事業										事業番号	05 - 15 - 03		
細分事業名	—										シート作成日	令和5年8月17日		
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	01	事業	03	事業開始年度	—		
											事業終了予定年度	—		
部 等 名					課 等 名						係 名			
産業環境部					美化センター						施設係			

計画（Plan）

事業の概要	総合計画	P	柱	—					
			部 門	—					
		—	大施策	—					
			中施策	—					
			施策目標	—					
	根拠法令・条例等			—					
	個別計画等			—					
	行政経営プラン 実施計画事業			実施番号	—		実施項目名	—	
	目 的 （何のために）			美化センター管理棟及びその付属施設の維持管理					
	対 象 （誰を・何を）			し尿、ごみ及び動物等の処理を依頼する町民等					
内 容			美化センター管理棟の維持管理及びその付属施設の保守点検、清掃等を実施する。						

実施
(Do)

執行体制			職員実施				
事業費			単位	R02年度（決算）	R03年度（決算）	R04年度（決算見込）	R05年度（予算）
	直接事業費（a）		千円	778	2,375	2,187	2,478
	財源内訳	国庫支出金	千円			346	
		県支出金					
		起債					
		その他					
		一般財源		778	2,375	1,841	2,478
	職員人数（概算職員数）		人	0.30	0.31	0.31	0.46
	人件費計（b）		千円	1,504	1,503	1,515	2,412
	総事業費（a）＋（b）		千円	2,282	3,878	3,702	4,890
事業費内訳（千円） R 05 年度		需用費154千円、役務費522千円、使用料及び賃借料317千円、工事請負費1,485千円					

指標値	本事業が属する総合計画 の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			—				—	
	指 標 名		単位	項 目	R03年度 （決算）	R04年度 （決算見込）	R05年度 （予算）	R07年度 （目標）
	対象指標 （対象者数等）	開庁日数	日	—	310	310	310	310
	活動指標 （活動量）	事業費	千円	計画値	857	857	857	857
				実績値	2,375	2,187	—	—
	成果指標 （達成度等）	床面積あたりの事業費 （事業費/447㎡）	%	目標値	1,631	1,631	1,631	1,631
				実績値	5,313	4,893	—	—
				達成率	325.8%	300.0%	—	—
	定性的成果		—					

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある	
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある	
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある	
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない	
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない	
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている	
事業の上位施策に向けた貢献度は大きい		④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-① 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある	
	過去の外部評価等における指摘事項	—		
	主な改善経過 (過去4年間)	R03: 「管理棟屋上防水修繕」「各部天井補修工事」「各部天井塗装工事」「場内区画線設置工」を実施した。 R04: 「管理棟トイレ修繕」「管理棟男子トイレ清掃用水洗設置修繕」「管理棟エントランス照明器具交換修」「美化センター構内樹木伐倒委託」「美化センター構内危険樹木伐倒業務委託」を実施した。		
	課題	施設及び場内の樹木等の維持管理費がかかる。 し尿処理施設更新の延期に伴い、施設老朽化への対応が必要。		

今後の方向性の判断	区分	維持	R04年度		R03年度		R02年度	
	理由	引き続き、事業の継続が必要であり、維持管理していくべきである。						
課題解決に向けて着手する取組事項	R05年度	「美化センター構内樹木伐倒委託」「大磯町美化センター管理棟西側屋上防水工事」を実施。						
	R06年度	管理棟建物や設備、構内の樹木等について、引き続き注視を行いながら必要に応じて修繕等を実施。						
R05年度改善事項	美化センター管理棟内の雨漏りに対応するため「大磯町美化センター管理棟西側屋上防水工事」を実施した。また、美化センター管理棟内の漏電について「大磯町美化センター配線漏電調査」及び「美化センター管理棟電気漏電箇所改善修繕工事」を実施した。その他、美化センター構内の安全確保のため「美化センター構内樹木伐倒業務」及び「美化センター構内蜂の巣駆除及び危険樹木切詰業務委託」を実施した。							
記入日	令和6年3月21日							

予算事業名	一般廃棄物処理手数料賦課徴収事業									事業番号	05 - 15 - 04		
細分事業名	—									シート作成日	令和5年8月17日		
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	01	事業	04	事業開始年度	—	
											事業終了予定年度	—	
部 等 名					課 等 名					係 名			
産業環境部					美化センター					施設係			

計画（Plan）

事業の概要	総合計画	P	柱	—			
			部 門	—			
			大施策	—			
			中施策	—			
			施策目標	—			
	根拠法令・条例等			大磯町廃棄物の処理及び清掃に関する条例			
	個別計画等			—			
	行政経営プラン 実施計画事業			実施番号	—	実施項目名	—
	目 的 （何のために）			町民生活の公衆衛生の向上			
	対 象 （誰を・何を）			し尿、ごみ及び動物の死体等の処理を依頼する町民等			
	内 容			し尿、ごみ及び動物の死体等の処理手数料の賦課徴収を行う。			

実施
(Do)

執行体制			職員実施				
事業費			単位	R02年度（決算）	R03年度（決算）	R04年度（決算見込）	R05年度（予算）
	直接事業費（a）		千円	689	596	538	641
	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金					
		起債					
		その他					
		一般財源		689	596	538	641
	職員人数（概算職員数）		人	0.67	0.67	0.74	0.70
	人件費計（b）		千円	2,263	2,320	2,799	2,921
	総事業費（a）＋（b）		千円	2,952	2,916	3,337	3,562
事業費内訳（千円） R 05 年度		賦課徴収事務消耗品代8千円、賦課徴収事務印刷製本代440千円、賦課徴収事務手数料193千円					

指標値	本事業が属する総合計画 の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			—				—	
	指 標 名		単位	項 目	R03年度 （決算）	R04年度 （決算見込）	R05年度 （予算）	R07年度 （目標）
	対象指標 （対象者数等）	汲み取り賦課件数	件	—	210	200	200	200
	活動指標 （活動量）	汲み取り賦課件数	件	計画値	210	200	200	200
				実績値	200	200	—	—
	成果指標 （達成度等）	徴収率（該当する現年度）	%	目標値	100	100	100	100
				実績値	100	100	—	—
				達成率	100.0%	100.0%	—	—
	定性的成果		—					

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	A. 負担導入済	A-① 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある	
		過去の外部評価等における指摘事項	—		
		主な改善経過 (過去4年間)	美化センター各種手数料滞納整理実施計画に基づき必要に応じて訪問徴収を行った。 令和元年度の現況調査により、し尿くみ取り台帳の更新を行い、以降継続して台帳管理を行っている。 手数料改訂に伴う対応を行った。		
	課題	町外への転出者等に対する対応の検討が必要である。常習未納者への訪問徴収。			

今後の方向性の判断	区分	維持	R04年度	維持	R03年度	維持	R02年度	維持
	理由	引き続き、事業の継続が必要であり、適正に賦課徴収を行う必要がある。						
課題解決に向けて着手する取組事項	R05年度	美化センター各種手数料滞納整理実施計画に基づき、必要に応じて訪問徴収等を実施する。						
	R06年度	美化センター各種手数料滞納整理実施計画に基づき、必要に応じて訪問徴収等を実施する。						
R05年度改善事項		美化センター各種手数料滞納整理実施計画に基づき、未納者に対して訪問徴収等を実施した。						
記入日								
令和6年3月21日								

予算事業名	ごみ収集運搬事業								事業番号	05 - 15 - 05		
細分事業名	—								シート作成日	令和5年8月17日		
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	02	事業	01	事業開始年度	昭和53年度（不燃ごみ）昭和60年度（可燃ごみ）
											事業終了予定年度	—
部 等 名					課 等 名					係 名		
産業環境部					美化センター					施設係		

計画（Plan）

事業の概要	総合計画	P —	柱	—					
			部 門	—					
			大施策	—					
			中施策	—					
			施策目標	—					
	根拠法令・条例等			廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
	個別計画等			大磯町分別収集計画・大磯町一般廃棄物処理基本計画					
	行政経営プラン 実施計画事業			実施番号	—		実施項目名	—	
	目 的 （何のために）			排出された廃棄物を適正に収集することにより、衛生的な生活環境の保全を図る。					
	対 象 （誰を・何を）			全町民					
内 容			一般家庭から排出される可燃ごみ、資源ごみ等を委託により適正かつ効率的に収集する。						

実施（Do）

執行体制			全部委託				
事業費			単位	R02年度（決算）	R03年度（決算）	R04年度（決算見込）	R05年度（予算）
	直接事業費（a）		千円	193,367	193,367	193,367	199,820
	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金					
		起債					
		その他					
		一般財源		193,367	193,367	193,367	199,820
	職員人数（概算職員数）		人	1.05	1.50	1.52	1.21
	人件費計（b）		千円	6,202	8,722	8,844	7,020
総事業費（a）＋（b）		千円	199,569	202,089	202,211	206,840	
事業費内訳（千円） R 05 年度		ごみ収集運搬委託料199,820千円					

指標値	本事業が属する総合計画 の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			—				—	
	指 標 名		単位	項 目	R03年度 （決算）	R04年度 （決算見込）	R05年度 （予算）	R07年度 （目標）
	対象指標 （対象者数等）	人口（7月1日時点）	人	—	31,564	31,385	31,185	31,385
	活動指標 （活動量）	委託収集量	t	計画値	8,000	7,801	7,675	8,000
				実績値	8,166	7,963	—	—
	成果指標 （達成度等）	1t当たりの収集経費 （直接事業費/委託収集量）	円	目標値	23,800	24,870	24,870	23,800
				実績値	23,700	31,385	—	—
				達成率	99.6%	126.2%	—	—
定性的成果		—						

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	① ある		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-① 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある	
	過去の外部評価等における指摘事項	—			
	主な改善経過 (過去4年間)	収集業者と毎月定例会を行い、町民サービス向上に向け、意見交換等を行っている。			
課題	平成30年度の大磯町リサイクルセンター稼働後、可燃ごみ、資源ごみ等（容器包装プラスチック、ペットボトル、不燃ごみ等）が大磯町美化センターへ搬入となっている。効率的な収集体制の見直し、また、家庭系ごみの収集方法の検討が必要となる。				

今後の方向性の判断	区分	維持	R04年度	維持	R03年度	維持	R02年度	維持
	理由	引き続き、事業を継続し、町内の衛生的な生活環境の保全を図る必要がある。						
課題解決に向けて着手する取組事項	R05年度	リサイクルセンターの運用面を踏まえ、効率的な収集運搬体制の再構築を図る。また、令和2年度に行った「家庭ごみの収集方法等に関するアンケート」結果を基に家庭系ごみの収集方法の検討などを行う。						
	R06年度	リサイクルセンターの運用面を踏まえ、効率的な収集運搬体制の再構築を図る。また、令和2年度に行った「家庭ごみの収集方法等に関するアンケート」結果を基に家庭系ごみの収集方法の検討などを行う。						
R05年度改善事項	人件費や油脂類等の資材費の高騰を踏まえ、収集運搬委託料の見直しを行った。町民の年末年始のごみ収集に関する利便性を考慮し、12月末の可燃ごみ収集を30日まで拡大した。ごみ処理事業を行った。							
記入日	令和6年3月21日							

予算事業名	ごみ処理事業								事業番号	05 - 15 - 06		
細分事業名	リサイクルセンター運営事務事業								シート作成日	令和5年8月17日		
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	02	事業	05	事業開始年度	平成30年度
											事業終了予定年度	—
部 等 名					課 等 名					係 名		
産業環境部					美化センター					施設係		

計画（Plan）

事業の概要	総合計画	P —	柱	Ⅲ 快適でくらしやすいまちづくり				
			部 門	18 廃棄物処理				
			大施策	A 廃棄物処理の推進				
			中施策	（３）ごみ処広域化の推進				
			施策目標	広域処理施設の適正運営				
	根拠法令・条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
	個別計画等		大磯町分別収集計画・大磯町一般廃棄物処理基本計画、平塚・大磯・二宮ブロックごみ処 理広域化実施計画					
	行政経営プラン 実施計画事業		実施番号	—		実施項目名	—	
	目 的 （何のために）		平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化により、大磯町と二宮町のごみの中間処理や選 別、保管など、リサイクルセンターの適切な運営を行う。					
	対 象 （誰を・何を）		全町民					
	内 容		リサイクルセンターの運営、管理 大磯町のごみを広域処理施設や民間処理業者へ搬出するために選別・保管を行う。大磯町 及び二宮町の容器包装プラスチック、ペットボトルの中間処理を行い、資源化に取り組む。					

実施（Do）

執行体制		全部委託					
事業費		単位	R02年度（決算）	R03年度（決算）	R04年度（決算見込）	R05年度（予算）	
	直接事業費（a）		千円	152,790	150,552	150,704	165,497
	財源内訳	国庫支出金	千円			352	
		県支出金					
		起債					
		その他		96,205	85,969	92,757	91,428
		一般財源		56,585	64,593	57,595	74,069
	職員人数（概算職員数）		人	1.71	1.24	1.34	1.12
	人件費計（b）		千円	10,101	6,894	7,467	6,156
	総事業費（a）＋（b）		千円	162,891	157,446	158,171	171,653
事業費内訳（千円） R 05 年度		運営委託料165,012千円、再商品化委託料485千円					

指標値	本事業が属する総合計画 の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			資源化率				32.9%以上	
	指 標 名		単位	項 目	R03年度 （決算）	R04年度 （決算見込）	R05年度 （予算）	R07年度 （目標）
	対象指標 （対象者数等）	容器包装プラスチック及び ペットボトルの大磯町・二 宮町の排出量	t	—	1,068	1,043	1,160	1,146
	活動指標 （活動量）	リサイクルセンター稼働日 数（プラ・ペット選別作業 日）	日	計画値	260	245	245	244
				実績値	243	250	—	—
	成果指標 （達成度等）	分別基準適合物引渡し実績	t	目標値	870	824	824	860
				実績値	782	758	—	—
				達成率	89.9%	92.0%	—	—
	定性的成果		—					

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある	
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある	
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある	
	効率性	事業費に削減の余地はないか	① ある	
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない	
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている	
事業の上位施策に向けた貢献度は大きい		④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-① 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある	
	過去の外部評価等における指摘事項	—		
	主な改善経過 (過去4年間)	運営事業者と毎月定例会を行い、町民サービス向上に向け、意見交換等を行っている。 R04年度：「大磯町リサイクルセンタートイレ修繕」を実施した。		
	課題	平成30年度リサイクルセンター稼働後、可燃ごみ、容器包装プラスチック、ペットボトル、不燃ごみ等が大磯町美化センターへ搬入となっている。更に資源化の推進、効率的な運搬を図る。		

今後の方向性の判断	区分	維持	R04年度	維持	R03年度	維持	R02年度	維持
	理由	引き続き、事業を継続し、リサイクルセンターの運営・管理を通して、更なる資源化の推進、効率的な運搬を図る必要がある。						
課題解決に向けて着手する取組事項	R05年度	大磯町のごみを広域処理施設や民間処理業者へ安全に搬出するため、搬入された廃棄物の適切な処理 (選別・保管) を行い施設の効率的な稼働を図る。 また、大磯町及び二宮町の容器包装プラスチック、ペットボトルの中間処理を行い、資源化に取り組む。						
	R06年度	大磯町のごみを広域処理施設や民間処理業者へ安全に搬出するため、搬入された廃棄物の適切な処理 (選別・保管) を行い施設の効率的な稼働を図る。 また、大磯町及び二宮町の容器包装プラスチック、ペットボトルの中間処理を行い、資源化に取り組む。						
R05年度改善事項		搬入された廃棄物の適切な処理及び町外処理施設への安全な運搬の実施や、運営事業者が実施する毎月の定例会において、町民サービス向上に向けた意見交換を行い施設の効率的な稼働を行った。契約に基づき国内企業物価指数総平均による見直しを行った。 また、各収集品目の異物混入率を低減させるため、住民等に対し広報紙等で周知啓発を行い資源化の推進及び効率的な運搬を図った。						
記入日								
令和6年3月21日								

予算事業名	し尿収集運搬事業										事業番号	05 - 15 - 07		
細分事業名	—										シート作成日	令和5年8月17日		
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	03	事業	07	事業開始年度	—		
											事業終了予定年度	—		
部 等 名					課 等 名						係 名			
産業環境部					美化センター						施設係			

計画（Plan）

事業の概要	総合計画	P	柱	—			
			部 門	—			
		—	大施策	—			
			中施策	—			
			施策目標	—			
	根拠法令・条例等			廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
	個別計画等			—			
	行政経営プラン 実施計画事業			実施番号	—	実施項目名	—
	目 的 （何のために）			し尿を適正に収集することにより、公衆衛生の向上を図る。			
	対 象 （誰を・何を）			くみ取り式便所の町民、事業者等			
	内 容			一般家庭及び事業者から排出されるし尿を委託により適正かつ効率的に収集する。			

実施
(Do)

執行体制			一部委託あり				
事業費			単位	R02年度（決算）	R03年度（決算）	R04年度（決算見込）	R05年度（予算）
	直接事業費（a）		千円	42,920	42,920	42,656	44,225
	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金					
		起債					
		その他		2,053	2,071	2,299	2,139
		一般財源		40,867	40,849	40,357	42,086
	職員人数（概算職員数）		人	0.65	0.37	0.45	0.60
	人件費計（b）		千円	3,146	1,857	2,341	3,239
	総事業費（a）＋（b）		千円	46,066	44,777	44,997	47,464
事業費内訳（千円） R 05 年度		し尿収集運搬委託料44,225千円					

指標値	本事業が属する総合計画 の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			—				—	
	指 標 名		単位	項 目	R03年度 （決算）	R04年度 （決算見込）	R05年度 （予算）	R07年度 （目標）
	対象指標 （対象者数等）	汲み取り世帯数・事業者数	世帯	—	146	130	130	110
	活動指標 （活動量）	し尿収集量	kℓ	計画値	329	292	292	219
				実績値	367	383	—	—
	成果指標 （達成度等）	1kℓ当たりの処理経費 （直接事業費/し尿収集費）	円	目標値	130,456	147,041	147,041	100,000
				実績値	116,948	111,373	—	—
				達成率	89.6%	75.7%	—	—
	定性的成果		—					

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	① ある		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	A. 負担導入済	A-① 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある	
	過去の外部評価等における指摘事項	—			
	主な改善経過 (過去4年間)	—			
課題	公共下水道整備の推進に伴い、対象世帯が減少傾向にあり、収集量は減少傾向にあるが、必要不可欠な事業のため、安全で効率の良い事業運営が必要。				

今後の方向性の判断	区分	維持	R04年度	維持	R03年度	維持	R02年度	維持
	理由	引き続き、事業を継続し、町内の衛生的な生活環境の保全を図る必要がある。						
課題解決に向けて着手する取組事項	R05年度	—						
	R06年度	—						
R05年度改善事項	人件費や油脂類の資材費の高騰を踏まえ、し尿収集運搬委託料の見直しを行った。							
記入日								
令和6年3月21日								

予算事業名	し尿処理事業								事業番号	05 - 15 - 08		
細分事業名	—								シート作成日	令和5年8月17日		
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	03	事業	02	事業開始年度	—
											事業終了予定年度	—
部 等 名					課 等 名					係 名		
産業環境部					美化センター					施設係		

計画（Plan）

事業の概要	総合計画	P	柱	—			
			部 門	—			
			大施策	—			
			中施策	—			
			施策目標	—			
	根拠法令・条例等			廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
	個別計画等			大磯町一般廃棄物処理基本計画、平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化実施計画			
	行政経営プラン 実施計画事業			実施番号	—	実施項目名	—
	目 的 （何のために）			し尿及び浄化槽汚泥を適正に処理することにより、公衆衛生の向上を図る。			
	対 象 （誰を・何を）			し尿及び浄化槽世帯、事務所			
	内 容			町内より収集されたし尿及び浄化槽汚泥を、し尿処理施設において適正に中間処理を行うとともに、施設の運転及び維持管理を実施する。また、中間処理により発生した汚泥等については、平塚市ごみ焼却場で処理する。			

実施（Do）

執行体制		全部委託					
事業費		単位	R02年度（決算）	R03年度（決算）	R04年度（決算見込）	R05年度（予算）	
	直接事業費（a）		千円	60,655	55,228	76,642	95,627
	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金		562			
		起債					
		その他		43,125	37,326	40,911	54,304
		一般財源		16,968	17,902	35,731	41,323
	職員人数（概算職員数）		人	0.45	0.19	0.26	0.62
	人件費計（b）		千円	2,495	1,089	1,503	3,357
	総事業費（a）＋（b）		千円	63,150	56,317	78,145	98,984
事業費内訳（千円） R 05 年度		消耗品費12,000千円、光熱水費45,000千円、修繕料753千円、手数料2,880千円、委託料34,725千円、使用料及び賃借料219千円、原材料費50千円					

指標値	本事業が属する総合計画 の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			—				—	
	指 標 名		単位	項 目	R03年度 （決算）	R04年度 （決算見込）	R05年度 （予算）	R07年度 （目標）
	対象指標 （対象者数等）	し尿及び浄化槽人口	人	—	10,409	10,011	9,613	8,814
	活動指標 （活動量）	し尿及び浄化槽汚泥量	㎥	計画値	5,585	5,329	5,037	4,526
				実績値	6,583	6,392	—	—
	成果指標 （達成度等）	1t当たりの処理経費 （直接事業費/し尿及び浄化 槽汚泥量	円	目標値	10,175	7,131	7,131	6,000
				実績値	8,389	11,990	—	—
				達成率	82.4%	168.1%	—	—
	定性的成果		—					

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する住民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による住民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	① ある		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである	
	過去の外部評価等における指摘事項	—			
	主な改善経過 (過去4年間)	R04年度：「し尿処理施設脱水汚泥ホッパ室下り壁爆裂等補修修繕」「し尿処理施設監視室エアコン設置修繕」を実施した。 R03年度：「トラックスケール定期修繕」「し尿処理施設次亜塩素酸ソーダ送液配管緊急仮設修繕」を実施した。 R02年度：「し尿処理施設管理棟自動火災報知設備受信機交換修繕」「し尿処理施設トラックスケールデータ処理システム緊急修繕」を実施した。 R01年度：「トラックスケール定期修繕」「し尿処理施設曝気槽越流緊急修繕」「し尿処理棟スロープ修繕工事」を実施した。			
課題	施設の老朽化が進んでいる中、ごみ処理広域化で平塚市のし尿・浄化槽汚泥の受け入れを行っており、施設更新時期の延期に伴い計画的な維持整備計画を検討する必要がある。				

今後の方向性の判断	区分	維持	R04年度	維持	R03年度	維持	R02年度	維持
	理由	引き続き、事業を継続し、し尿等を適正に処理する必要がある。						
課題解決に向けて着手する取組事項	R05年度	既存施設の適正管理や設備等について、平塚市との施設の処理機構や公共下水道の進捗を踏まえ、引き続き検討・調整を行う。令和3年度に実施した汚泥再生処理センター建設候補地でのボーリング調査にて埋設廃棄物が確認されたことから、令和4年度に策定した美化センター敷地内の地質調査等の計画に基づき地質調査を行う。また、「し尿処理施設水槽臭気脱臭ファン用インバーター交換修繕（令和4年度の繰越明許案件）」を実施した。						
	R06年度	既存施設の適正管理や設備等について、平塚市との施設の処理機構や公共下水道の進捗を踏まえ、引き続き検討・調整を行う。令和3年度に実施した汚泥再生処理センター建設候補地でのボーリング調査にて埋設廃棄物が確認されたことから、令和5年度に実施した地質調査の結果に基づき新たなし尿処理施設整備の工程を検討していく。						
R05年度改善事項	既存施設の適正管理や設備等について、平塚市との施設の処理機構や公共下水道の進捗を踏まえ、引き続き検討・調整を行った。高圧受変電設備の更新により生じた低濃度PCB含有電気設備の処分を行った。							
記入日								
令和6年3月21日								

予算事業名	し尿処理施設維持整備事業										事業番号	05 - 15 - 09		
細分事業名	—										シート作成日	令和5年8月17日		
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	03	事業	02	事業開始年度	—		
											事業終了予定年度	—		
部 等 名					課 等 名					係 名				
産業環境部					美化センター					施設係				

計画（Plan）

事業の概要	総合計画	P	柱	—					
			部 門	—					
			大施策	—					
			中施策	—					
			施策目標	—					
	根拠法令・条例等			廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
	個別計画等			大磯町一般廃棄物処理基本計画、平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化実施計画					
	行政経営プラン 実施計画事業			実施番号	—		実施項目名	—	
	目 的 （何のために）			し尿及び浄化槽汚泥を適正に処理することにより、公衆衛生の向上を図る。					
	対 象 （誰を・何を）			し尿及び浄化槽世帯、事務所					
	内 容			町内より収集されたし尿及び浄化槽汚泥を、し尿処理施設において適正に中間処理を行うとともに、施設の運転及び維持管理を実施する。また、中間処理により発生した汚泥等については、平塚市ごみ焼却場で処理する。					

実施（Do）

執行体制			全部委託				
事業費			単位	R02年度（決算）	R03年度（決算）	R04年度（決算見込）	R05年度（予算）
	直接事業費（a）		千円	38,445	37,400	37,950	46,000
	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金			9,786	8,174	10,584
		起債					
		その他		14,388	18,502	20,993	21,321
		一般財源		14,050	9,112	8,783	14,095
	職員人数（概算職員数）		人	0.75	0.81	0.92	0.97
	人件費計（b）		千円	4,430	4,781	5,429	5,725
	総事業費（a）＋（b）		千円	42,875	42,181	43,379	51,725
事業費内訳（千円） R 05 年度		工事請負費46,000千円					

指標値	本事業が属する総合計画 の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			—				—	
	指 標 名		単位	項 目	R03年度 （決算）	R04年度 （決算見込）	R05年度 （予算）	R07年度 （目標）
	対象指標 （対象者数等）	し尿及び浄化槽人口	人	—	10,409	10,011	10,011	8,814
	活動指標 （活動量）	し尿及び浄化槽汚泥量	㎥	計画値	5,585	5,329	5,329	4,526
				実績値	6,583	6,392	—	—
	成果指標 （達成度等）	1t当たりの処理経費 （直接事業費/し尿及び浄化 槽汚泥量	円	目標値	10,175	7,131	7,131	6,000
				実績値	5,681	5,937	—	—
				達成率	55.8%	83.3%	—	—
	定性的成果		—					

評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する住民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による住民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
事業の上位施策に向けた貢献度は大きい		④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している			
公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである		
過去の外部評価等における指摘事項		—			
主な改善経過 (過去4年間)		し尿処理施設更新の検討を行うとともに、現有施設の維持整備項目について、運転管理業者や現業職員と打合せを行い、整備項目及びスケジュール精査を行った。			
課題		施設の老朽化が進んでいる中、ごみ処理広域化で平塚市のし尿・浄化槽汚泥の受け入れを行っており、設備を適正に維持管理するためには、し尿処理施設更新事業のスケジュールを考慮しながら整備計画を見直し、計画的に整備していく必要がある。			

今後の方向性の判断	区分	維持	R04年度	維持	R03年度	維持	R02年度	維持
	理由	引き続き、事業を継続し、し尿処理施設の維持整備を適正に行う必要がある。						
課題解決に向けて着手する取組事項	R05年度	既存施設の適正管理や設備等について、し尿処理施設更新事業の進捗を踏まえ、引き続き整備計画の検討及び調整を行う。低濃度PCBを含有する高圧受変電設備の更新及び取りはずしたPCB含有機器の処分を行う。						
	R06年度	既存施設の適正管理や設備等について、し尿処理施設更新事業の進捗を踏まえ、引き続き整備計画の検討及び調整を行う。						
R05年度改善事項		既存施設の適正管理や設備等について、し尿処理施設更新事業の進捗を踏まえ、引き続き整備計画の検討及び調整を行った。低濃度PCBを含有する高圧受変電設備の更新及びし尿処理事業を行った。						
記入日								
令和6年3月21日								